



女性活躍推進特別講演



「感性工学との出会い」加古慈氏（トヨタ）



12月12日、国分シビックセンターで、トヨタ自動車株式会社・先進技術開発カンパニー・材料技術領域・領域長の加古慈氏による講演会がありました。加古氏は女性総合職第1期生としてトヨタ自動車へ入社、ベルギーで人の心地よさを大切に作る「感性工学」と出会い、レクサスCTの女性初の開発責任者をされ、現在はトヨタ自動車に12名しかいない役員をされている方です。今回は、自らの経験を踏まえながら、示唆に富んだメッセージを話されました。ポイントを紹介します。

① レクサスの開発に当たって、日本人の目線で作られていたので、ヨーロッパ人の目線で作る必要だと思い、トヨタ社で意見を述べたが却下された。そこで、ヨーロッパでレクサスがどう見られているのか「人の心地よさを大切に作る」という視点で分析し、数値化した。そして試行錯誤しながらヨーロッパ人に受け入れられる車を作ることに成功した。

① どうしてもいい車が作りたいという思いで、尊敬するデザイナーに会いに行き、一生懸命話をしたら、自分の熱意を理解し、仕事に協力してくれ、今では無二の親友となった。頑張っていると、必ず助けてくれる人が現れる。



② 「行ってみよう、やってみよう」の思いを持ち、いつも必死に頑張っているとチャンスに出会える。心が折れそうなきもなんとか頑張っていると、アイデアが浮かんでくる。

今回の講演会には、女子生徒8名が参加しました。その感想文を紹介します。

① 加古さんがレクサスについて、一つの項目を様々な視点から分析されていましたが、これは私たちの課題研究にも活かせると思い、勉強になった。今まで車に何気なく乗っていたけど、縫い方で肌触りが変わったり、ボタンのデザインの位置まで考えたりしていてすごいと思った。

② 自分のやりたいことにまっすぐ向き合っそれを成し遂げるとても素晴らしい人生だなと思った。

③ 現代の車の開発に大きな影響を与えた加古さんはかっこいい！自分も頑張りたい。

④ 女性として初めてヨーロッパに行かれて、とてもいきいきとされていて、私も加古さんのようになりたいと思った。



⑤ 私は今ちょうど進路について考えているが、今日の講演会でとても多くのことを学んだ。周りに流されず、こうと決めたらその目標に向かってまっしぐらに進んでいきたい。

⑥ チーフエンジニアとは商品開発の全責任を負うとても大変な仕事であり、そんなポジションに女性として就いている加古さんは世の女性を勇気づけていると思う。「思い続けると願いが叶



う」「自分の限界を自分で決めない」という言葉をいただきとても勇気づけられた。これから生かしたい。